

はじめに



福生市は、昭和45年7月の市制施行以来、平成22年で40周年を迎え、この間、教育、福祉、都市基盤整備、生活基盤整備等、着々とまちづくりを進めてまいりました。また、平成22年3月には、向こう10年間の方向性を定めた福生市第4期総合計画を策定し、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を将来都市像として、だれもが未来に夢を持つことができ、ずっとこのまちに住み続けたいと思っていただけるような福生市を築いていくため、新たなまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

さて、米空軍横田基地には、市の行政面積の32.4%を占める3,317km²が提供され、福生市にとっては大変大きな存在であります。したがって、基地対策は実に重い課題です。現在は、米軍再編問題に伴う航空自衛隊航空総隊司令部の移駐が開始され、その移駐後は第5空軍司令部と併置されることから、米軍の輸送中継基地から、日本の防空及びミサイル防衛の機能を持った、日米が共同で使用する基地として態様も大きく変化し、ますます重要な拠点として位置づけられつつあります。

基地問題に対する考え方やその対策の進め方については、当面、基地は動かし難いとの前提に立っておりますが、現状を超える基地機能の強化は容認することはできないと考えており、また、基地の存在に起因する諸問題は、基地周辺の住民だけが犠牲になるということではなく、常に都民あるいは国民すべての問題として捉え、その対策について万全を期すよう関係各機関に絶えず要望、要請を行ってまいりました。

なお、昨年12月に閣議決定された中期防衛力整備計画において、「横田基地を新設し、航空総隊司令部等に移転する」という文言が表記されたことに対しても、市民の安全・安心を守るため、更なる基地機能強化がなされないよう国に対し抗議・申入れたところであり、今後も基地の動向には十分に注意を払っていかねばなりません。

本書は、平成18年に発行した「福生市と横田基地」の改訂版として発行するもので、基地に起因する多くの諸問題を抱える本市の現状を知っていただくとともに、基地周辺対策事業関係資料集としてとりまとめたものであり、関係各位の御参考になれば幸いです。

改訂版発刊に際しまして、写真等資料の御提供や御指導、御協力をいただきました多くの方々には厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月

福生市長 加藤 育男